

受章おめでとうございます

—平成28年春の叙勲—



◀瑞宝双光章(消防功労)

原 幹雄さん(明宝二間手)は、昭和43年1月に奥明方村消防団に入団して以来46年の永きにわたり消防業務に従事し、地域消防の発展と消防組織等の確立に大きく貢献されました。また、平成20年4月からは郡上市消防団長に就任し、団員の資質向上や地域の災害防止などに尽力されました。

◻旭日双光章(教育功労)

三輪喜一さん(白鳥町大島)

三輪さんは、昭和59年に白鳥町教育委員会の教育委員に任命され、同町が郡上市として合併するまでの19年間、学校教育をはじめとする教育全般の振興に尽力され、このうち14年間を教育委員長として務められました。

こうした永年にわたるご功績が認められ、このたびの受章となりました。

※お名前のみのご紹介とさせていただきます。  
おめでとうございます。

7月13日  
(水)

ワンストップで相談・支援

—産業振興支援センター設立準備会—

中小事業者や自営業者、市内での就労や起業をめざす方にワンストップで相談や支援を行う「(仮称)郡上市産業振興支援センター」の次年度開設に向け、この日、商工会館で商工会、観光連盟、市役所など12の関係機関による初回の会合が開かれ、設立準備会が発足しました。



◀会合の様子

7月16日  
(土)

白山開山1300年の意義を考える

—白山開山1300年祭イベント—



◀南砺平高等学校の生徒による舞台発表

「郡上市白山開山1300年祭イベント」が白鳥文化ホールで開催され、約400人が来場されました。イベントでは、石徹白民踊保存会らによる石徹白民踊披露、石川県立図書館史料編さん室長の東四柳史明さんの講演、自然、歴史文化、交流の各分野から郡上の白山開山1300年祭のあり方を考えるパネルディスカッション、富山県立南砺平高等学校郷土芸能部による舞台発表などが行われました。

7月22日  
(金)

熊本に義援金762万円

—熊本地震被災者義援金—

市自治会連合会(福手保成会長)は、熊本地震被災者救援のための義援金を、7月5日までに各自治会からとりまとめ、この日、福手会長から日置市長に義援金目録(総額7,627,366円)が手渡されました。受領した義援金は、日本赤十字社岐阜県支部を通じ、被災者支援に使われます。

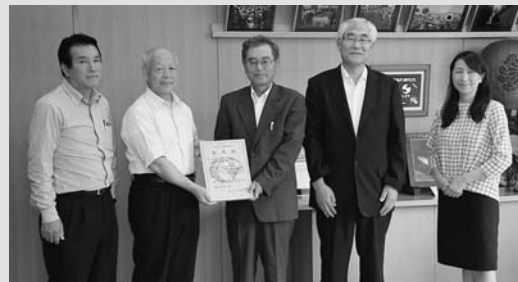


◀福手会長(右)から目録を受け取る日置市長

7月22日  
(金)

良好な景観形成に向けて

—郡上市景観百景認定式—



◀認定証を受け取る岩見自治会長(中央)

郡上市内の魅力ある景観の発掘とその創出に貢献する活動を市が認定する「郡上市景観百景」に「白鳥町干田野地区」が認定されました。干田野地区自治会長の岩見恒夫さんは「干田野地区の歴史や文化と美しい農地の景観をこれからも大切にしていきたい」と述べられました。



# まちのわだい

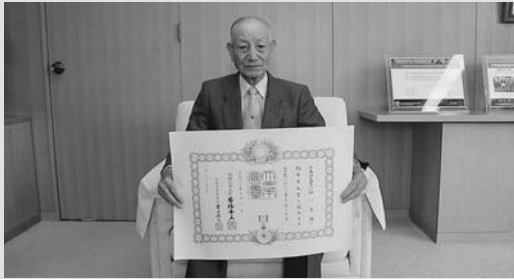
Town Topics

7月22日  
(金)

## おめでとうございます

—高齢者叙勲を受章—

細川孝彌さん(八幡町市島)は、昭和61年11月八幡町議会議員に初当選され、以来平成16年2月までの通算5期17年の永きにわたり地方自治の発展に尽力されました。特に、平成12年からの3年間は、八幡町議会議長として、議会の円滑な運営に努められました。



◀旭日単光章  
(地方自治功勞)

7月26日  
(火)

## 公共施設の今後を考える

—公共施設等に関する市民説明会—



◀説明会の様子

「郡上市の公共施設等に関する市民説明会」が市役所大和庁舎で行われ、約150人が参加されました。この説明会では、市の公共施設の現状や課題、6月に市民2千人を対象として実施したアンケート結果などの説明があり、参加者からは「公共施設のあり方」などについての質問がありました。

7月24日(日)

## 郡上市でも「鮎の日」を祝い、鮎の塩焼きを無料配布

—道の駅しろとりで「GIAHS鮎の日記念イベント」を開催—

「GIAHS鮎の日記念イベント」が道の駅しろとりで開催されました。これは、昨年12月に認定された世界農業遺産「清流長良川の鮎」の普及啓発を目的に毎年7月第4日曜日を「GIAHS鮎の日」と定められたもので、記念イベントは、県内各所で開催されました。道の駅しろとりでは、奥村郡上漁業協同組合長による



◀郡上高等学校の細江さんによる夢宣言



◀無料で配られる鮎の塩焼き

清流保全に向けた決意表明や郡上高等学校の生徒による清流長良川を守る「夢」宣言などが行われ、その後、会場内で農産物の販売や鮎の塩焼きの無料配布、郡上良良ちゃんによるオリジナルうちわの配布が行われ、大人から子どもまで大勢のみなさんと賑わいました。

7月27日(水)

## 大和西小学校が練習の成果を発揮し、準優勝

—第39回岐阜県交通少年団自転車安全大会—

小学生が自転車の安全な乗り方や走行技術を競う「第39回岐阜県交通少年団自転車安全大会」がOKBぎふ清流アリーナ(岐阜市)で開催され、県内16校64人の交通少年団が出場、郡上市からは大和西小学校6年生4人が出場しました。競技は、信号交差点、踏切での走り方や、ジグザグ走行などの技術を競う



▲【左から】高橋慶成さん(6年)、林詩音さん(6年)、堀菜々子さん(6年)、森藤大翔さん(6年)

◀団体で準優勝の4人



◀応援に駆け付けたみなさんと記念撮影

実技テストと、道路標識などを問う学科テストに挑みました。児童らは、6月から郡上警察署員や交通安全協会役員、市交通専任指導員の指導を受け、熱心に練習に取り組みました。そして練習の成果を十分に発揮し、団体では準優勝、個人では森藤大翔さんが優勝、堀菜々子さんが第5位入賞をしました。



7月28日  
(木)

### 季節型雇用から通年雇用をめざして

—戦略的雇用対策調査研究事業—

市では、季節により業務量の差が大きい企業同士が連携し、お互いに従業員が出向しあうなど、季節型雇用を通年雇用に変え、雇用・労働を安定させる仕組みの実現可能性についての調査研究を始めました。今回第1回の会合が開催され、市内の季節型雇用や労働の実情を調査することなどが話し合われました。



◀ 会合の様子

8月7日  
(日)

### 大和南小児童が仕舞を披露

—第29回薪能「くるす桜」—



◀ 稽古に励んできた仕舞を披露する子どもたち

大和町牧地区の明建神社で、今年も薪能「くるす桜」が奉納されました。大和南小学校5、6年生がこの日のために稽古を重ねた仕舞「合浦」や「岩船」を披露した後、拝殿両脇のかがり火が燃え上がる幻想的な雰囲気の中、能「くるす桜」や狂言などが上演されました。

8月7日  
(日)

### 城山から美しい花火

—第36回郡上八幡城下町花火大会—



夜になっても暑さが残るなか「第36回郡上八幡城下町花火大会」が開催されました。吉田川を横断する滝花火などの趣向を凝らした仕掛け花火や、全国的にも珍しい城山からの打ち上げ花火が、城下町の夜を鮮やかに彩りました。

8月10日  
(水)

### 100歳おめでとうございます

—長寿者褒賞(100歳)—



◀ 高橋ウメさん  
(大和町落部)

大正5年8月15日生まれ

高橋ウメさんのご自宅に青木副市長が訪れ、お祝い状や花束を手渡し、「100歳おめでとうございます」とお祝いの言葉をかけると、高橋さんは「ありがとうございます」と笑顔でお礼を述べられました。いつまでもお元気で。

8月10日  
(水)

### 市内8つ目の道の駅が開駅

—道の駅「清流の里しろとり」開駅式—

白鳥町向小駄良の複合施設「清流の里しろとり」が5月10日付けで道の駅に登録され、この日、関係者約40人が出席する中、道の駅としての開駅式が行われました。市内にある7つの道の駅と同様に今後は、地域振興及び防災の拠点としての役割を担う道の駅として運営されます。



◀ テープカットをし、開駅を祝うみなさん

8月14日  
(日)

### 夢や願いを込めて

—第25回郡上長良川夢花火—



「第25回郡上長良川夢花火」が市役所大和庁舎周辺で開催されました。みなさんの夢や願いが込められた花火が、長良川河畔から次々と打ち上げられ、見物客は光と音が織りなす芸術に酔いしれました。また、第25回記念として、初めてミュージックスターマインが行われました。